

蓄電池産業の振興による経済強靱化に向けた緊急決議（案）

「未来社会を創出する、バッテリー等の基盤産業振興議員連盟」

令和3年6月11日

バッテリー（蓄電池）は我が国の産業競争力の礎である。市場の急成長が見込まれる電気自動車をはじめとする電動モビリティの基幹部品であるだけでなく、再生可能エネルギー拡大に不可欠な電力需給の調整力として、カーボンニュートラル時代の新たなエネルギー基盤ともなる。

また、経済安全保障の観点からは、上記のような戦略品である蓄電池やその材料の供給を特定国に過度に依存することは避けなければならない。国内に蓄電池・材料のサプライチェーンを確保し、車載用・定置用蓄電池等の市場成長の果実を我が国に取り込む必要がある。

以上の観点から政府に対し、以下、緊急提言する。

- 一 諸外国の投資支援措置に負けないよう、蓄電池・材料の大規模生産拠点の国内立地に対し大胆な支援策を講じること
- 一 次世代蓄電池の早期実用化で世界をリードするため、グリーンイノベーション基金等を活用した国家プロジェクトを強力に進めること
- 一 リチウムやニッケルなどの希少資源確保や材料技術の開発、蓄電池の再利用・再資源化の促進など、蓄電池のグローバルなサプライチェーンの強靱化を図ること
- 一 蓄電池やそれを含む製品の域内での販売にあたり、環境配慮を求める欧州の「電池規則案」等を踏まえ、欧州等に蓄電池や電動車を輸出可能とする制度的基盤を整備すること
- 一 生産に大量の電力を必要とする蓄電池産業の国内立地を進めるため、安価で安定した脱炭素エネルギーの安定供給を図ること
- 一 蓄電池は規模の経済が強く働く設備投資型産業のため、蓄電池の国内需要を確保する必要がある、国内における電動車等の普及拡大に向けた包括的な措置を講ずること
- 一 電動車や定置用蓄電池をエネルギーシステムの中で活用するバーチャル・パワープラントの取組などを強力に進めること

未来社会を創出する、バッテリー等の基盤産業振興議員連盟は以上の項目等を骨太の方針や今後の経済対策、税制改正等に働きかけ、実現を目指す。

以上